



千葉市立誉田中学校 学校だより

誉田のかぜ

学校だよりはHPにも掲載してあります

第14号

令和5年10月17日発行

千葉市立誉田中学校

TEL291-0012

◆合唱コンクール特集 ～歌声の響く学校～◆

校長 北島 啓行

先日の10月13日、東金文化会館にて合唱コンクールが開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症も5類に移行したこともあり、3年ぶりに保護者の方をお招きしての開催となりました。会場の関係から、各学年の入れ替え制で行いました。その中でご来場いただき、参観された皆様、ありがとうございました。また、PTAの役員の方々におかれましては、受付等のご協力、ありがとうございました。皆様のご協力の賜物と重ねて感謝申し上げます。

さて、これまで生徒たちは、どのような合唱曲にするか、多くの曲を聴きながら話し合いを重ねてきました。その結果、夏季休業前にどのクラスも合唱曲が決まり、指揮者や伴奏者は早々に準備を開始し、実行委員やパートリーダーを中心に練習がスタートしました。コンクールということで、賞が取れたクラス、取れなかったクラスはありますが、どのクラスも優劣つけがたく、審査員を悩ませました。合唱を通じて、歌のすばらしさだけでなく、委員や係との協力を含めて、学級が一つの事へ団結し、真剣に取り組んでいる姿は、また一歩大きく成長した証だと思えます。



【受付のスローガン】



【3年生最優秀 3年B組】



【各賞の表彰の様子】

◆各クラス賞・個人賞の発表◆

(WEB版では個人名を掲載していません)

	1年生	2年生	3年生
最優秀賞	1年E組 変わらないもの	2年D組 輝くために	3年B組 ヒカリ
優秀賞	1年B組 COSMOS	2年F組 時の旅人	3年E組 友 ～旅立ちの時～
特別賞	A組校歌（ミュージック・ベル） 夢の世界を		
優秀指揮者賞			
優秀伴奏者賞			

◆合唱コンクールを終えて◆ ～各学年最優秀賞クラス代表より～

3年B組は、2年生の合唱コンクールでとても悔しい結果になったことをバネにクラス全員一丸となって頑張ってきました。一人一人が合唱をより良いものにしたい、頑張りたいという気持ちが指揮をしていてとても伝わってきました。34人のそれぞれの強い気持ちがあわさって取れた賞なのでとてもうれしいです。「ヒカリ」は2年生の時の曲とはまた違い、更なる



表現力やそれぞれのパートの音量アップが求められる曲です。特に最初の絶望からだんだんとヒカリが出てくる明暗を表現するのがとても難しかったです。私自身も指揮での表現が難しく、何度もあきらめそうになりました。それでも頑張ったのは、B組のみんなをはじめ、先生方や家族など沢山の人の支えがあったからです。この経験から、みんなで頑張ることの大切さ、支えてくれる人の大切さに改めて気づくことができました。私は、そうした気持ちをもって千葉市音楽発表会のステージに立ちます。本当にありがとうございました。

<3年B組 代表生徒>

2年生という立場での合唱コンクールは、先輩・後輩に向けた姿勢を見せることができたと思います。昨年、悔しかった思い出やもっとこうすればよかったと反省したところを今年に生かし、私のクラスでは自由曲に工夫をつけることができました。これは自由曲の難易度に関係せず、より多くの練習やその過程が大事だと思います。私が印象に残っているのは、3年生が昼休憩でギリギリまで練習していた姿です。そこで本番にかける思いは、これまでの練習に比例しているんだなと思いました。3年生の演奏は自信があり、ユニゾンがきれいで、まさに団結していたと思います。来年は私達2年生がこの3年生になる番です。同じメンバーで来年も歌うからこそ、もっと思いやりや信頼しあえるクラスになっていきたいと思っています。



<2年D組 代表生徒>

皆さん、初めての合唱コンクールはどうでしたか。1学年ではどのクラスからも練習をしている声が聞こえ、コンクールに向けて頑張ってきました。1学年はインフルエンザの影響で、リハーサルや交流発表会ができず、少し不安もありましたが、本番の日を迎えました。各クラスとも練習の成果を発揮し、一生懸命歌い、私たちのクラスでは「変わらないもの」を心をついにしてみんなで合唱をして、最優秀賞をいただくことができました。初めての合唱コンクールで賞をいただくことができ、とても嬉しかったです。残された1学年での学校生活も、合唱コンクールで学んだことを生かし、一日一日を大切にして、勉強や部活動、委員会活動など、一生懸命に取り組んでいきましょう。



<1年E組 代表生徒>

☆ 合唱コンクール実行委員長の言葉は、次号で紹介いたします。